

# OVER the RAINBOW

大阪教育大学 グローバルセンター長 加賀田 哲也

巻頭言

## 『外国語を学ぶということ』

vol. **34**

### TOPICS

- スタッフ紹介
- 外国語学習支援ルーム(GLC)の図書サービス
- 新任教員の言葉
- 2024年度前期・後期修了留学生メッセージ
- 秋季日本文化研修(三重県・滋賀県)
- グローバルセンターニュース&More!
  - 中国・東北師範大学芸術団による公演会を開催
  - 第34回EAIEトゥールーズ大会に参加
  - 第15回グローバルセンター国際シンポジウムを開催
  - 留学生支援のお願い
- 留学生のイベント・授業紹介
  - 留学生茶話会
  - 文化交流実践研究
- タイ・チェンマイ大学 英語・SDGs・日本語教育研修



(カガタ テツヤ)

大阪教育大学 グローバルセンター長 加賀田 哲也

Message

# 『外国語を学ぶということ』

私は本学の英語教育部門に所属しています。30年余り大学で英語を教えています。時折「どうして英語を勉強しなければいけないの?」「日本で生活する限りは、日本語で十分なのでは?」と尋ねられることがあります。みなさんはこの質問にどう回答されますか?

昨今、あまりにも「コミュニケーション」という言葉が独り歩きし、コミュニケーション能力の育成が、あたかも外国語教育の「目的」として見なされている傾向があります。確かに学習指導要領には、外国語教育の「目標」として、「外国語によるコミュニケーションを図るための資質や能力を育成する」とあります。しかしながら、これはあくまでも「目標」であって、「目的」ではありません。「目標」はその上位概念にある「目的」を達成するための具体化されたためあてに相当するものです。では、外国語教育の「目的」は何でしょうか。

私は外国語学習の「目的」は「人間理解(自己理解、他者理解)」にあると考えます。ただ、人を理解するには困難を伴うことは確かです。人それぞれ思考様式や価値観が異なるからです。日本人同士でもそうなので、ましてや異なる言語や文化をもつ人々を理解、共感することには相当な困難を伴うこともあります。そこで、人間の持つ異質性・多様性とどう向き合うか、が大きな課題となります。

日本国内においても、多言語化、多文化化、多民族化は年を経るごとに進展しています。これから先もさらに進展していくと予測される中、国内においてもいかに多言語・多文化共生社会を構築するかが今日的課題のひとつです。その解決策のひとつに外国語学習が挙げられると考えます。

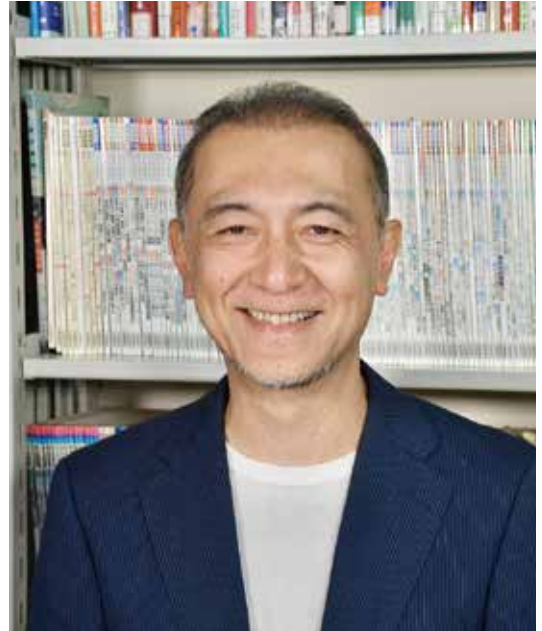
「ことば」を学ぶことは、そのことばに潜在する「文化」を学ぶことにもなります。言い換えれば、「ことば」と「文化」は表裏一体の関係にあります。よって、外国語を学ぶことによって、異文化を知ることが可能となり、このことが異言語・異文化を持つ人々を理解し、敬い、これらの人々と共生するための一助になると考えます。そして究極には多言語・多文化共生社会の実現、平和の構築につながっていくと考えます。

学ぶ外国語が増えるたびに、「人間を知る窓」が増え、新たな地平が開かれていきます。「ことば」は生きています。その人のアイデンティティそのものです。人と人をつなぎ、人間を理解するための媒体です。したがって、外国語を学ぶことで、人間の持つ異質性・多様性をさらに理解し、大いに楽しんでいただきたいものです。

言葉の前に、相手が存在し、その人を知りたい、その人に伝えたいという気持ちがある。

言葉の前に、相手への関心があり、相手との関係を築いていきたいという気持ちがある。

そして、言葉やかかわりを通して、様々な体験が形づくられ、人間の豊かさが共有できる。



## 》》 スタッフ紹介

2024年7月より国際室国際交流係に配属になりました白木と申します。

学生のみなさんと直に接する業務に関わることは、今回が初めてのことであり、とても新鮮な気持ちで日々、取り組んでいます。

プライベートでは、毎週日曜日、ボランティアで私の地元に住む外国人の方と日本語交流をしています。私の興味関心に関係がある国際室で仕事ができることは、とてもうれしく思います。どうぞよろしく願いたします。



国際室国際交流係 白木 真樹子  
(シラキ マキコ)



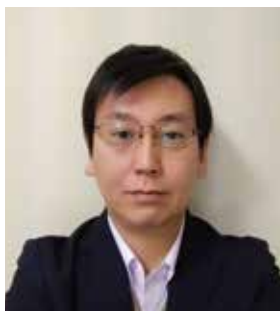
## 新任教員の言葉

New teacher's voice



多文化教育系 グローバル教育部門 教授  
(グローバルセンター 国際教育部門・語学教育部門) 小山 哲春 (コヤマ テツハル)

2024年4月に教育協働学科英語コミュニケーションコースに着任いたしました。専門はコミュニケーション学で、言語学(特に語用論)、社会心理学、文化心理学、言語人類学等を基盤とした学際的なアプローチでヒトのコミュニケーション研究を行っています。新しいことばを学ぶことは、単に新しい記号体系の仕組みや意味を獲得することに留まらず、世界を認識する新しい眼鏡を手に入れることであり、また、新しい自我を育むことでもあります。ことばを単なるコミュニケーションのツールとして捉えれば翻訳ソフトやAIツールを活用するのも一つの手段ではありますが、本学で外国語を学ぶみなさんには、自分と世界、自分と他者、そして自分と自分自身を今までとは異なるやり方で繋ぐことのできる新しい、そして自分自身の生の「感覚器官」として新しい言語を獲得して欲しいと願っています。微力ながらそのお手伝いができるよう努力したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



多文化教育系 グローバル教育部門 特任准教授  
(グローバルセンター 連携開発部門) 井上 岳彦 (イノウエ タケヒコ)

2024年4月よりグローバルセンター連携開発部門を担当している井上岳彦です。アジアとヨーロッパの関係史、特にロシアの信徒の歴史について、彼らの移動性に着目しながら研究してきました。また、動物と人間の関係を中心に環境史の分野や、オルタナティブ医療を中心に医療史の分野の研究にも取り組んでいます。大学教育において教育協働学科では、グローバルヒストリーを中心に、「グローバルサウス」と呼ばれる国々に注目しながら授業を行っています。教員養成課程では西洋近現代史をメインに据えた外国史を教え、グローバル社会における歴史教育のあり方について学生と議論をしています。さらに、連合教職大学院での教育にも携わる機会をいただき、社会科教育と実践について大学院生とともに探究してきました。また、クアチア留学・学術交流の担当者にもなり、人的交流の促進に努めているところです。今後、グローバルセンターでの業務を通じて、巨視的観点と微視的観点を組み合わせてグローバル社会を観察し、新たな共創関係を創っていく教育人材の育成に取り組んでいきたいと考えています。よろしくお願いいたします。



多文化教育系 グローバル教育部門 特任講師  
(グローバルセンター 留学生教育部門) 野瀬 由季子 (ノセ ユキコ)

2024年4月にグローバルセンターおよび教育協働学科に着任いたしました。現在は、留学生を対象にした日本語科目や、日本語教育プログラムの学部科目、大学院生向けの科目などを担当しています。専門は日本語教育学で、日本語学校における日本語教師の専門性開発や組織改革に関する研究に取り組んできました。自身は、大学時代に外国語・第二言語としての英語を学び、海外での語学留学を経験しました。本学では多くの留学生の皆さんと関わりますが、異国の地で経験する苦労にも寄り添いながら、皆さんと共に、「今」というかけがえのない時間を大切に過ごしていきたいです。また、大学院入学以降は日本語教育の現場に入り、日本語教師としての経験を積みながら、「言語とは何か」、「文化とは何か」、「学習とは何か」、「教育とは何か」などを何度も自分自身に問うてきました。

本学では、日本語教育に関する専門科目の中で、学部生・大学院生の皆さんとこれらの問いに対しても共に探求していきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



## 秋季日本文化研修 — 三重県・滋賀県 —

秋季日本文化研修を11月9日(土)に実施し、留学生とチューターなどの日本人学生、あわせて53名が参加しました。この研修は、日本の伝統文化に触れてそれを深く理解すること、また日本人学生と留学生の交流機会促進を目的としています。

当日はまず、三重県にある伊賀流忍者博物館を訪れ、からくり屋敷や資料館を見学しました。また、忍者ショーを観覧し、手裏剣や刀を使った立ち回りを目の前で見ることができました。手裏剣の重みを実際に触れて体験することもできました。忍者の身の守り方や役割、そして今に引き継がれている歴史に触れる機会となりました。

次に訪れたのは、滋賀県の信楽陶苑たぬき村です。ここでは美味しい日本産の食材を使った昼食をいただきました。昼食後は、伝統ある古い歴史を持つ信楽焼の絵付け体験を行いました。各々が自由に筆をはしらせ、自分だけの茶陶を作りました。

今回の研修に参加した留学生からは、「日本が伝統文化をどのように保存し、また発展させていくのか体験できる良い時間でした」といった声や、「研修に参加した他の参加者との交流を深め、意見

交換をして他の人の視点を取り入れられた」といった声が聞かれました。また、日本人学生からは「普段当たり前のように見ている陶器やお皿の模様注目して、作り手の努力に感謝していこうと思いました」といった声があり、日本文化への気づきやそれを通じた学生同士のつながりが生まれる1日となりました。



絵付け体験の様子

## 留学生のイベント・授業紹介

### 留学生茶話会

2024年5月と11月に、留学生茶話会を実施しました。茶話会は留学生同士のつながり作りを目的とし、今年度初めて企画したものです。5月には20名、11月には12名の留学生が参加し、一緒にご飯やお菓子を食べながら交流を深めました。11月の茶話会では教育協働学科長の町頭先生がゲーム大会を企画し、参加した留学生、教職員ともに大いに盛り上がりました。

今回グローバルセンター主催の留学生茶話会に参加し、そこでお菓子を食べながらゲームをたくさんして本当に楽しかったです。先生たちは留学生のみんな誰でも楽しめるようにゲームのルールをわかりやすく説明し、さらに中国語で通訳してくれる先輩も参加してくださっていました。留学生茶話会でとても印象的だったのはマシュマロチャレンジです。ゲームを進める中で言葉の壁を超えてみんなは自然に協力しあったり、アイデアをシェアして良い作戦をたてたり、国籍や文化の違いを超えた交流ができました。みんなで教え合い、助け合いながら高いタワーを作って頂上にマシュマロを置くこのチャレンジは、貴重な経験だと思います。今後もこうした企画に参加し、留学生が抱える日々の悩みや文化の違いについて気軽に話せたらいいなあと思います。さらに異文化理解も深めていきたいので、またこのような企画楽しみにしています。

(教育協働学科教育心理化学専攻4回生/リュウギョウロク)



茶話会を楽しむ本学留学生の様子

### 文化交流実践研究

非正規留学生を対象とした科目の一つに「文化交流実践研究」というものがあります。この科目は、留学生たちが、自国の文化や習慣などについて日本の小学生に紹介する授業をグループごとに作成し、実際に地域の小学校を訪れて授業をし、児童たちと交流を行うというものです。この「文化交流実践研究」において、留学生たちは、授業準備のアシスタントとして参加する日本人学生の協力も得ながら、授業を受けた児童が外国の文化や習慣などについて楽しく学ぶことができるように懸命に準備を進めます。

そして、今年度も柏原市内の小学校3校にご協力いただき、小学生との交流授業を実施することができました。各小学校では、説明の途中にクイズを入れたり、実際にダンスを体験してもらったりと、それぞれの教室で工夫を凝らした授業が展開されました。また、授業を受けた児童からはたくさんの質問がなされるなど、熱心に授業を受けてもらうことができ、授業をする前は緊張した様子だった留学生たちも徐々にリラックスして、彼らとの貴重な交流の機会を得ることができた様子でした。

ご協力いただいた柏原市内の小学校関係者の皆さま、誠にありがとうございました。



交流授業を行う本学留学生





## タイ・チェンマイ大学 英語・SDGs・日本語教育研修

タイ・チェンマイ大学の研修が今年は質量ともにパワーアップして、「英語・SDGs・日本語教育研修」として実施されました。前半2週間は英語コミュニケーション能力の向上やタイの先進的なSDGsについて学ぶ研修に参加し、タイの事情に基づいてどのような取り組みがなされているのかを体験的に学びました。またチェンマイ大学の学生がパディとしてさまざまに本学学生たちを支援してくれました。学生たちはタイの生活や文化についての理解を深めるとともに、1日のプログラム終了後にはご飯を食べに行くなどして、学生同士交流を深めていました。

そして3週目は本学独自のプログラムとして、チェンマイ大学の言語教育センターで日本語を学ぶ学生に授業をすることを目標として、同センターの日本語教員による日本語教育・指導法についてのワークショップに参加しました。普段母語として意識せず使用している日本語の語彙や文法、発音などを学習者に教えるというのは想像以上に難しいものですが、学習者の特徴や難しく感じる点、それらにどのようにアプローチするかを学びました。参加した学生たちは、教材研究や模擬授業にしっかり時間をとって準備を行い、講師の先生からもフィードバックをもらいつつ改善を繰り返し、最終的には堂々と授業を実施することができました。

またタイでは高校などで日本語を学んでいる生徒も多く、今回の研修では2つの学校を訪問し、現地の高校生と日本語で話しながら、各々が用意したアクティビティ（日本の学生は福笑い、あやとりやけん玉、タイの高校生はダンス、楽器演奏やお菓子作りなど）で楽しい時間を過ごしました。

日本国内でも外国にルーツを持つ子どもたちへの日本語教育支援などの必要性が高まっていますが、学習者との文化的交流も含めての今回の日本語教育プログラムが、将来の子どもたちへのより良いサポートにつながることを期待されます。

### 本研修概要

研修期間：2024年9月1日（日）～22日（日）（22日間）

本学参加人数：4名



日本語教育ワークショップの様子



現地高校訪問の様子



現地高校訪問の様子

## 外国語学習支援ルーム（GLC）の図書サービス

外国語学習支援ルーム（GLC）では、語学学習や留学に関する図書の貸し出しを行なっています。柏原と天王寺、合わせて約3400冊（多読が1800冊、雑誌や語学検定テキストが1600冊）の蔵書があり、毎年1000冊前後の貸し出しを行なっています。

さて今回は、その中でも特に語学学習に有効な英語の多読本を紹介します。現在GLCには、英語力に応じて7段階の多読本を用意しています。ことばを習得する際の基本の一つは、なんといっても「生」の表現に触れることですが、実際に人を相手に「生」の英語に触れるのは時間的にも心的にもハードルが高いかもかもしれません。多読本なら、隙間時間に、しかも「自分の好きな話題」について生の表現に多く触れることが可能です。例えばPenguin Readersシリーズでは、Romeo & JulietやChristmas Carolといった古典的名作から、Steve JobsやNelson Mandelaの伝記、さらにはArtificial IntelligenceやLife in Spaceといった技術・科学の話題まで揃っており、興味を持つ話題や専門領域の話題について、「自分に合った

レベルの英語」で、負担なくのめり込んで読むことが可能です。自分が入り込んだ世界で触れた「生」の表現は、知らないうちに身についく感覚を、是非味わってみませんか？詳しくはGLCのWebページでご確認ください。



【Web ページ】



【X (@OKU\_glc)】



様々なジャンルの多読本



7段階にレベル分けされた本



# 2024年度 留学生メッセージ


Thank you O.K.U


## 日本語・日本文化 研修留学生 (前期修了)


	氏名 ムハムマド ムハムド 出身 インドネシア
<p>素晴らしい留学 でした！ いろいろたいせつなこ とを学びました。 また留学できるよ うがんばります！</p>	


	氏名 クワンチン テン 出身 タイ
<p>長い旅ですが、おかげでいろいろ 経験ができた。大阪大の経験、 日本語の勉強もとても役に 立ちました。日本にまた来 たいです。また会いましょう。 ありがとうございました。</p>	

	氏名 ムハムマド ムハムド 出身 タイ
<p>楽しい思い出を！ 海間 ありがとうございました ました。</p> 	


	氏名 ケイリン ケン 出身 台湾
<p>留学期間にたくさんの方に に挨拶しました。そこで 楽しい思い出でした！ ありがとうございました！</p>	


	氏名 ロンギョウ ロンギョウ 出身 ベトナム
<p>3年間、日本の文化や生 活を楽しめることができました。 先生のおかげで、 私の日本語の能力も 向上しました。O.K.U での留学体験を中心に 思い出します。</p>	


	氏名 アグネス アグネス 出身 チリ
<p>色々と体験して、 とてもまた 素敵な人 々に <del>会</del> 出会う ことが出来てよかったです！</p>	


	氏名 エリカ エリカ 出身 ブラジル
<p>留学のおかげで、友達 がたくさんできて、良か たと思います。そして、 日本語を毎日勉強して 能力は向上しました。 信じます。日本に来て 素晴らしいです。</p>	


	氏名 ナツバ ナツバ 出身 ウクライナ
<p>忘れられない 思い出でまで ほんとうにうれしい ありがとうございます！ ごさいます！</p>	

	氏名 シムラダウ シムラダウ 出身 ベトナム
<p>日本は初めての海外で とても楽しい一年が過 りました。大阪教育大学 に留学して、友達もい っぱい作って、とても 楽しいです！ 大教大大好き ♡</p>	

	氏名 アグネス アグネス 出身 フランス
<p>この留学の時期で、日本語 能力を上げられた、たくさん の友達かできました。 大阪教育大学は最高です！</p>	

	氏名 カズキ カズキ 出身 ポーランド
<p>この1年間は最高の 思い出です！色々楽し んで、大阪最高です！ 来年が来れば、この思い出</p>	

	氏名 アグネス アグネス 出身 フランス
<p>大教大の 猫たちのエサやり が、とても可愛かったです！ また会いましょう！ ありがとうございました！</p>	


	氏名 山崎 山崎 出身 ブラジル
<p>非常に楽しかったです。 元々のテーマは別 のテーマに変更し てから、楽し なりました。や りたかったことをや らせたので、 楽しかったです！</p>	


	氏名 ヒューンヒューン 出身 ベトナム
<p>1年間、たくさんの方に 出会えました。たくさん のことを勉強できたり、 日本の生活を体験でき たりして、本当に 貴重な思い出になり ました！帰国しても、 この1年間の思い出 をずっと自分の中に 残します。大阪教育 大学で留学できて、 本当に良かったです！</p>	

■前期修了日本語・日本文化研修留学生  
YE HTUT(ミャンマー)





**特別聴講学生**  
(前期修了)


	氏名 パクカビン 出身 韓国
<p>OKUでの一年はとても楽しかったです。 いろんな国の友達もできて本当に良い経験もとても楽しみにできて嬉しかったです。 みんなありがとう♡</p>	


	氏名 ファン トイ フィン 出身 ベトナム
<p>OKUでいろいろな思い出をつくりました。 本当にありがとうございました。 思います。</p>	

	氏名 TRAN THI NGOC ANH 出身 ベトナム
<p>この1年間は私にとってとても貴重で、かけがえのないものになりました。全ての思い出は自分の経験になりました。今後の人生に多大な良い影響を与えられたと感じています。留学期間を終了したことはこの言葉が一番似合います。</p>	

	氏名 ステファニー マイア 出身 ドイツ
<p>日本に来て、色々な経験を、すごくうれしいです。</p>	

	氏名 ユセイ アオキ 出身 ドイツ
<p>大教での一年、たけの思い出でできた。真言に楽しかった！</p>	


	氏名 シズリン 出身 ドイツ
<p>この大学では、たくさんの新しい人たちと出会うことができ、忘れられない時間を過ごした。 素晴らしい思い出です。</p>	


	氏名 スワホリ・ソラ 出身 フランス
<p>日本に来てOKUに留学して本当に楽しいです。たくさんのお話を学び、とても楽しかったです。</p>	

**特別聴講学生**  
(後期修了)


	氏名 JIN HWISEO 出身 South Korea
<p>これはホームビジット交流会で撮った写真です。留学する間に大阪だけでなく京都、奈良、神戸などいろいろなところに行くことができてよかったです。関西、最高。関西最高。</p>	

**教員研修留学生**  
(後期修了)

	氏名 Kinsey Den 出身 BURUNDI
<p>Thank you. I'll never forget the memories I've made with the most wonderful people I've met here in OKU. 😊</p>	


	氏名 Chaiyapong Dares 出身 THAI
<p>留学生のために色々なサポートやイベントがあったおかげで、毎日楽しい生活を送ることができました。 OKUに来て本当に良かったです。😊</p>	

	氏名 ソヨミン 出身 韓国
	

	氏名 イム ミン 出身 韓国
<p>OKUでの時間は本当に大きかったです。楽しかったです。教員先生たち、友達と過ごす時間は本当に楽しかったです。この経験が光栄です。ありがとうございました。😊</p>	

	氏名 Stella 出身 Nigeria
<p>My time at OKU has been unforgettable, surrounded by nature that provided both inspiration and peace. I am deeply grateful to the incredible international office staff for their support and kindness throughout my journey. THANK YOU OKU.....</p>	

	氏名 タニア 出身 タンザニア
<p>At OKU, I found a peaceful sunny route with beautiful mountain views all seasons. It was during these runs that I started writing my book. Though it is far from home, there are many clubs that made my stay even more great... It is a happy and therapeutic place to study! 😊</p>	

	氏名 TABESSI ESSON KAFANTANNA 出身 MALAWI
<p>Surrounded by the beautiful nature with fresh air on top of the mountain made my stay at OKU unforgettable. Come to OKU and remain healthy through climbing the mountain. I LOVE OKU!</p>	

	氏名 ABDELLAH SARGHINI 出身 MOROCCO
<p>I will always remember OKU and everything about it, especially climbing up the mountain ☺. The whole experience was amazing and also some people I met here were amazing too. Thank You OKU!</p>	

# グローバルセンターニュース&More!

## 中国・東北師範大学芸術団による公演会を開催

中国・長春市に位置し教員養成を担う東北師範大学から副学長、教職員および学生の計21名が5月15日(水)・16日(木)の2日間にわたり柏原キャンパスに来訪しました。

今回の訪問では、東北師範大学の学生芸術団を迎え、本学の「創基150周年記念事業」冠事業の一環として公演会を開催しました。

公演会当日は、多文化教育系の王林鋒特任准教授の司会のもと、岡本幾子学長の開会の挨拶から始まり、東北師範大学の学生がチャルメラや古琴などの民族楽器の演奏、中国伝統舞踊、武術演武等を12演目行いました。

会場には120名以上の観衆が集まり、伝統楽器が奏でる音色や歌声に皆が耳を傾け、大胆かつ繊細な舞演に目を見張りました。

公演後には表現活動系の中務晴之特任教授の講評があり、公演のお礼として教育協働学科芸術表現専攻・音楽表現コースの学生らが木琴やドラムを用いた打楽器アンサンブルを演奏しました。

芸術団との交流に参加した教職員からは、「初めは普通の大学生に見えましたが、衣装を着て舞台上に立った途端に顔つきが変わり、プロさながらの演奏や舞演に驚きました」「長い練習と熱心な先生方の指導の賜物だと思います」「これを契機にお互いの大学に興味をもつ学生が増え、両大学の交流がさらに進展していくと嬉しいです」などの声が聞かれました。



公演の様子



公演の様子

## 第34回EAIEトゥールーズ大会に参加

EAIE (European Association for International Education) は欧州の国際教育交流団体で、毎年9月中旬頃に開催される年次大会は、世界各国より5,000-6,000人が参加する欧州の国際教育交流分野最大のコンベンションです。2024年度はフランスのトゥールーズで9月17日(火)から20日(金)まで開催され、加賀田哲也グローバルセンター長と中山あおい連携開発部門長が参加しました。開催期間中、国内外の18の大学の参加者と面談し、情報交換を行いました。なかでもスイス・チューリッヒ教育大学やアメリカ・ウエスタン・カロライナ大学などの本学の協定大学の参加者とは、現行の学生交流プログラムについて話し合い、親交を深めました。また、本学の協定大学以外の大学とは、今後の交流協定の可能性について協議しました。さらに、日本からの参加大学との交流も深め、学生の海外派遣や受け入れプログラムについての情報交換を行いました。



面談中の中山教授(左)と加賀田グローバルセンター長(左から2人目)

## 第15回グローバルセンター国際シンポジウムを開催

グローバル化の進展に伴い、小・中学校においてさまざまな言語的・文化的背景のある子どもに対する支援の必要性が高まっており、こうした子どもに対応できる教員の育成が課題となっています。そこで、本学の協定大学である韓国・ソウル教育大学と台湾・高雄師範大学から講師を招いて、「アジアにおける言語的・文化的に多様な子どもの教育を考えるー韓国、台湾、日本の事例から」と題して、シンポジウムを開催しました。ソウル教育大学副学長のKim Sung-Sik教授からは、韓国での支援の実態についての講演がありました。また、台湾において、国境をこえて越境する子どもに対する第二言語としての中国語教育のための支援システムを構築している高雄師範大学の鍾鎮城教授から、支援システムの実態についての講演がありました。最後に、本学の副専攻プログラム「外国にルーツのある子どもの教育」代表の高橋登教授が大阪市の言語的・文化的に多様な子どもを対象にして実施した質問紙調査について講演し、多文化に開かれた子どもの心理的側面について発表しました。

参加した学生からは、「各国が多文化背景を持つ子どもたちに対して独自の支援策を講じていることがわかりました。これらの事例から、多文化共生社会の実現には、教育現場での言語支援だけでなく、心理的なサポートや地域との協力が欠かせないと感じました。各国の取り組みは、異文化理解を深め、多様性を尊重する社会づくりの一助となっていると強く感じます」との感想が寄せられました。



鍾教授の講演



シンポジウム登壇者の記念撮影

## 留学生支援のお願い

留学生後援会では修学支援奨学金の給付による留学生支援を行っております。ご賛同くださる皆さまは、下記によりご支援下さい。留学生支援のためのご寄附についても、税法上の優遇措置の適用を受けることができますこととなりましたので、この機会にぜひご検討下さい。

### 学内教職員

- 一口500円/月、給与から天引き

### 学外支援者

- 振込…任意の金額を下記宛てにお振込下さい

三菱UFJ銀行 藤井寺支店

普通預金 口座番号: 5210211

名義: 大阪教育大学留学生後援会(オオサカキョウイクダイガクリュウガクセイコウエンカイ)

- 現金納入

## 寄附・納入方法

